

# 一人ひとりの思いやり ~交通事故のないまちへ~

高齢者や子どもが歩行中や通学中に交通事故にあうニュースが連日テレビなどで放送されています。記憶に新しいところでは一昨年5月に大津市で散歩中の園児が犠牲になった事故、今年6月に千葉県で帰宅途中の小学校児童などが犠牲になった事故などが痛む悲しいニュースを聞かされたとき、どうすればこのような事故がなくなるのだろうと考えさせられます。年末を迎えるにあたり何かと気忙しくなりますが、こんな時期だからこそ、自動車や自転車を運転する場合、歩行中など、どうすれば事故が防げるのか一人ひとりが交通安全について改めて考えてみましょう。

## 『思いやり運転』を大切に

近年、全国的に交通事故による死者数は減少傾向を維持しています。これは「衝突被害軽減ブレーキ」や「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」等が搭載された安全性の高い自動車の普及が減少要因のひとつであることはご存じかと思えます。

今後、さらに安全性の高い自動車の普及が期待されるころではありませんが、交通事故の多くは未だ前方不注意や左右の安全不確認等「人」の過失によるものであることを考えると交通事故を減少させるには、私たち「人」の安全運転が必要不可欠だといえます。

甲賀警察署では、皆さんに「思いやり・ゆずり合い」の気持ちをもった運転「思いやり運転」をお願いするためにさまざまな活動に取り組んでまいりました。

学校や企業における交通安全教室、甲賀湖南交通安全協会や甲賀湖南安全運転管理者協会等と連携した啓発活動に取り組んできたほか、県(滋賀県)交通安全

甲賀警察署交通課係長 戸田智大さん



全対策協議会)が実施している「横断歩道利用者ファースト運動」の推進や、横断歩行者妨害の取締り強化にも取り組んでまいりました。

当署管内における令和3年10月末現在の交通事故の発生件数および死傷者数は、皆さんが日ごろから安全運転に努めていただいた結果、前年よりも減少しています。

今後も交通事故を1件でも減らしていけるように、一人ひとりが相手の立場に立ち、横断歩道での歩行者優先、無理な追い越しや進路変更をしない等「思いやり運転」を継続していただきますようお願いいたします。

## けいたくんの交通安全プロジェクト



YouTubeで配信中!  
けいたくんと一緒に考えよう!



## ちょっと豆知識

### 交通死亡事故多発警報と高齢者事故多発警報ってどんな時に出るの?

『交通死亡事故多発警報』  
交通死亡事故がおおむね10日間のうちに5件以上発生した際に県内全域に発令されます。

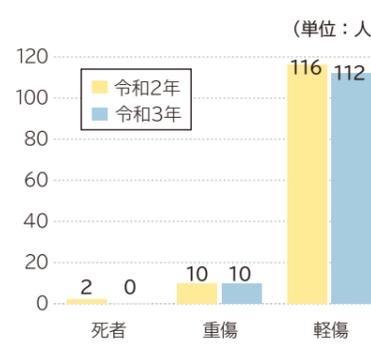
発令期間：原則7日間

『高齢者事故多発警報』  
高齢者(65歳以上)が亡くなる交通事故が、おおむね10日間に3件以上発生した際に県内全域に発令されます。

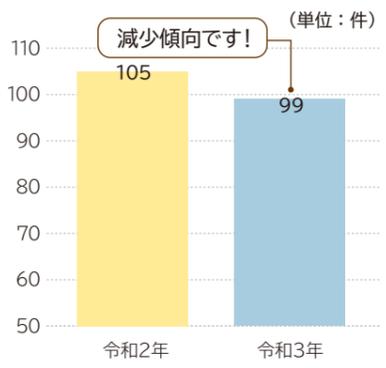
発令期間：原則7日間

発令期間中は、警察による取り締まりや、さまざまな啓発活動が実施されます。これまで以上の安全運転に努めましょう。

▼図2 甲賀市内での交通事故による死者・傷者数



▼図1 甲賀市内での発生件数



▼図3 時間帯別の発生件数



発生件数、死者数は減少傾向です!  
通勤・通学・帰宅時間帯が多い

(図1)(図2)は今年9月末時点での市内で発生した交通事故の件数などのグラフです。発生件数、傷者数等とも昨年(図3)はその発生件数を時間帯別に表したものです。やはり通勤・通学・帰宅時間帯が多い傾向に減少しています。

この時間帯ではより交通安全への注意が必要です。

特に朝夕は人通りも多くなり、持ちにも余裕がなくなることから、交通事故の発生確率が高まるといえます。

行量が増える時間帯である朝8時台の通勤・通学時間と夕方4時台からの帰宅時間での件数が最も多くなっています。